

桐生繊維業界の実態

平成12年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生市繊維業界の概況

平成12年12月末現在

1.	調査対象団体数	16団体（桐生商工会議所繊維部会除く）
2.	産地収入	
	（1）生産高	266億4,736万円
	（2）加工収入高	31億9,997万円
	（3）販売高	100億1,646万円
	計	398億6,379万円
	※退会組合の収入（前年対比94%）	46億0,843万円
	計	444億7,222万円（前年対比（%）94）
3.	組合員数（事業所）	565事業所
4.	総従業員数（家族従業員含む）	3,702人
5.	一事業所当り従業員数	6.6人
6.	一事業所当り生産販売加工高	7,056万円
7.	年度別産地収入高	
	昭和54年産地収入	1,078億1,166万円
	" 55年	1,170億6,380万円（前年対比（%）109）
	" 56年	1,110億8,757万円（前年対比（%）95）
	" 57年	1,083億3,093万円（前年対比（%）98）
	" 58年	1,023億 634万円（前年対比（%）94）
	" 59年	976億1,960万円（前年対比（%）95）
	" 60年	917億1,760万円（前年対比（%）94）
	" 61年	853億4,182万円（前年対比（%）93）
	" 62年	804億5,848万円（前年対比（%）94）
	" 63年	783億8,548万円（前年対比（%）97）
	平成元年	841億7,076万円（前年対比（%）107）
	" 2年	931億1,687万円（前年対比（%）111）
	" 3年	908億7,740万円（前年対比（%）98）
	" 4年	1,001億1,232万円（前年対比（%）110）
	" 5年	893億2,611万円（前年対比（%）89）
	" 6年	845億3,438万円（前年対比（%）95）
	" 7年	733億6,672万円（前年対比（%）87）
	" 8年	678億3,478万円（前年対比（%）92）
	" 9年	616億9,017万円（前年対比（%）91）
	" 10年	528億4,669万円（前年対比（%）86）
	" 11年	473億6,503万円（前年対比（%）90）

※ 本調査は、桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に作成しております。

なお、団体の加盟及び脱会により調査の対象が変わるため、前年対比は参考数字とさせていただきますので、予めご了承ください。

1. 組合員数及び従業員数

所属団体		組合員数 事業所	従業員数				計	従業員 平均年齢
			従業員		家族従業員			
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	120	207 ^人	205 ^人	109 ^人	282 ^人	803 ^人	54 ^歳
	内地協議会	97	285	459	101	106	951	57
桐生織物産地元売組合		8	13	5	7	6	31	46
桐生染色協同組合		25	180	26	12	11	229	50
桐生繊維製品協同組合		44	191	543	15	24	773	41
桐生糸商組合		17	32	18	16	11	77	48
東日本編レース工業組合		16	33	20	23	19	95	45
桐生織物整経協同組合		22	3	7	24	18	52	62
桐生意匠協同組合		16	5	5	4	7	21	41
桐生紋紙協同組合		14	17	2	16	16	51	53
東毛ジャカード刺繍協同組合		10	16	25	11	20	72	46
桐生刺繍商工業協同組合		47	99	151	83	78	411	53
桐生織物買継商友会		18	6	3	18	15	42	55
シルク・ルネッサンス桐生		(5)
桐生テキスタイル商業グループ		7	20	15			35	42
桐生織伝統工芸士会		(42)
桐生和服裁縫組合		54		55	1	3	59	
計		565	1,107	1,539	440	616	3,702	-

- 注 (1) 平成 7年 1月13日群馬県綿スフ織物(工)解散し退会。
(2) 平成 7年 5月17日桐生織伝統工芸士会 入会。
(3) 平成10年 3月31日両毛輸出織物整染(工)解散し退会。
平成10年 3月31日両毛輸出スカーフ組合解散し退会。
平成10年 3月31日桐生織物商業組合解散し退会。
(4) 平成10年 4月 1日桐生和服裁縫組合 入会。
(5) 平成11年 3月31日桐生金銀糸協同組合解散し退会。
(6) 平成12年 3月31日桐生撚糸工業組合解散し退会。

※ シルク・ルネッサンス桐生、桐生織伝統工芸士会は、他の組合と重複しているので計算に含めておりません。

2. 生産、加工高及び受注（出荷）先区分（工業部門）

所 属 団 体		生 産 高 (万円)	加 工 高 (万円)	計 (万円)	前 年 対 比 (%)	取引先区分 (%)	
						県 内	県 外
桐生織物協同組合	広幅協議会	645,531	57,866	703,397	104	0	100
	内地協議会	483,766		483,766	96	0	100
桐 生 染 色 協 同 組 合			127,042	127,042	95	55	45
桐 生 繊 維 製 品 協 同 組 合		950,693	40,901	991,594	90	0	100
桐 生 刺 繍 商 工 業 協 同 組 合		66,838	71,720	138,558	71	98	2
東 日 本 編 レ ー ス 工 業 組 合		200,000		200,000	77	59	41
桐 生 織 物 整 経 協 同 組 合			12,268	12,268	100	100	0
桐 生 意 匠 協 同 組 合		14,739		14,739	87	77	23
桐 生 紋 紙 協 同 組 合		19,339		19,339	100	87	13
東 毛 ジャ カ ー ド 刺 繍 協 同 組 合		53,830		53,830	98	0	100
桐 生 テ キ ス タ イ ル 商 業 グ ル ー プ		230,000		230,000	100	100	0
桐 生 和 服 裁 縫 組 合			10,200	10,200	94	91	9
計		2,664,736	319,997	2,984,733	93	20	80

3. 販売高及び出荷先区分（商業部門）

所 属 団 体	販 売 高 (万円)	前 年 対 比 (%)	取 引 先 区 分		
			桐 生 市 内	県 内	県 外
桐 生 織 物 産 地 元 売 組 合	142,200	94	5	0	95
桐 生 糸 商 組 合	790,000	99	62	8	30
桐 生 織 物 買 継 商 友 会	69,446	85	0	0	100
計	1,001,646	97	50	6	44

4. 内需向、輸出向区分

所属団体	内 需 向		輸 出 向		計 (万円)
	金 額 (万円)	割合(%)	金 額 (万円)	割合(%)	
桐生織物協同組合 広幅協議会	608,169	86	95,228	14	703,397
桐 生 染 色 協 同 組 合	123,687	97	3,355	3	127,042
桐生繊維製品協同組合	991,594	100	0	0	991,594
桐生刺繍商工業協同組合	138,558	100	0	0	138,558
桐生織物整経協同組合	12,268	100	0	0	12,268
桐 生 意 匠 協 同 組 合	14,413	98	326	2	14,739
桐 生 紋 紙 協 同 組 合	18,692	97	647	3	19,339
計	1,907,381	95	99,556	5	2,006,937

5. 各団体の取扱品目

所属団体	品 目					割合 (%)
	品 目					
桐 生 織 物 協 同 組 合 (広 幅 協 議 会)	服	地	インテリア・ 資 材	ネクタイ	そ の 他	
	55		31	8	6	
桐 生 織 物 協 同 組 合 (内 地 協 議 会)	帯	地	金 襴 他	服飾工芸品	着 尺	
	71		12	10	7	
桐 生 織 物 産 地 元 売 組 合	帯	地	着 尺	服飾工芸	そ の 他	
	65		6	14	15	
桐 生 染 色 協 同 組 合	合	織	レーヨン・ キュプラ等	綿・ウール等	絹	
	55		32	6	7	
桐 生 繊 維 製 品 協 同 組 合	ブラウス	ニ ッ ト	ス ー ツ	ジャケット	そ の 他	
	69		13	5	3	10
桐 生 糸 商 組 合	化 合 織	レーヨン	綿・スフ	絹	そ の 他	
	57		24	12	4	3

所属団体	品 目				
	割 合 (%)				
東日本編レース工業組合	インテリア	衣 料	資 材		
	77	16	7		
桐生織物整経協同組合	整 経				
	100				
桐生意匠協同組合	洋 反 金 欄	インテリア	帯	そ の 他 (輸出含)	
	25	34	28	10	3
桐生紋紙協同組合	紋 紙	エンドレス ペーパー	フロッピー (直織式)		
	100				
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	トレーナー	ワンポイント 刺 繍	そ の 他
	44	26	4	11	15
桐生刺繍商工業協同組合	婚礼衣裳	婚礼加工	ブラウス ニット加工	ハンカチーフ 加 工	雑 貨
	35	16	22	14	13
桐生織物買継商友会	帯	二次製品	着 尺	そ の 他	
	85	10	2	3	
桐生テキスタイル商業グループ	服 地				
	100				
桐生和服裁縫組合	きもの全般	長 襦 袢	コート・羽織	帯	そ の 他
	47	25	1	26	1

6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設備名	数量	所属団体	設備名	数量
桐生織物(協) (内地協議会)	広幅織機	102	東毛ジャカード 刺繍(協)	コンピュータミシン	56
	並幅織機	966		プレス	14
	小幅織機	169		本縫いミシン及びその他の機械	36
	自動・レピア織機	218		計	106
	計	1,455		整経機	27
桐生織物(協) (広幅協議会)	普通織機	1,088	桐生織物整経(協)	ワインダー	1,150
	自動織機(片レピア含)	250		計	1,177
	無杼織機	421	桐生意匠(協)	デザインシステム	32
計	1,759	拡大機		6	
桐生染色(協)	常圧噴射式染色機	107		コピー機	14
	高圧噴射式染色機	34		計	52
	汎用染色機	42		桐生紋紙(協)	デザインシステム
	チーズ及びケーキ染色機	61	カードパンチ		17
	計	244	横彫カットエンドレス		20
桐生繊維製品(協)	縫製ミシン	920	ワンパンチ		15
	プレス	38	計	81	
	裁断機	45	桐生刺繍商工業(協)	横振りミシン	145
	計	1,003		多頭式刺繍機	526
東日本編レース(工)	ラッシエル機	97		計	671
	計	97			

7. 最近の推移 (12年10月～13年2月)

品 目 団 体 名		受 注 ・ 引 合 の 状 況				販 売 (加 工) 単 価 の 状 況			
		増	変らず	下降	前年対比(%)	上昇	変らず	下降	前年対比(%)
桐生織物協同組合	広幅協議会		○		100		○		100
	内地協議会		○		100		○		100
桐生織物産地元売組合			○		100			○	90
桐生染色協同組合			○		100		○		100
桐生繊維製品協同組合				○	90			○	90
桐生糸商組合			○		100		○		100
東日本編レース工業組合				○	80			○	75
桐生織物整経協同組合			○		100		○		100
桐生意匠協同組合				○	86		○		100
桐生紋紙協同組合			○		100		○		100
東毛ジャカード刺繍協同組合		○			103			○	100
桐生刺繍商工業協同組合				○	70			○	70
桐生織物買継商友会				○	85			○	85
桐生テキスタイル商業グループ			○		95			○	100
桐生和服裁縫組合			○		100			○	100
計		1	9	5	-		7	8	-

8. 平成12年（1月～12月）の状況、事業概要及び今後の課題

桐生織物協同組合

商品、消費者のニーズの変化について

昨年に引き続き内需広幅、和装部門ともカジュアル化傾向が強く、生活習慣の変化で着物離れはますます進み、IT関係への出費は増大しているが衣料品の購買力は減少しており、今後ますますこの傾向は強まる。

状況、事業概要

全体として消費者の買い控え、ニーズの変化、カジュアル化指向で昨年に引き続き低調に推移したが、広幅部門では前年並みに推移し、和装部門では着物離れ、買い控え等マイナス要因が大きく前年を割り込んで低調に推移した。

服地関連は輸入品構成、需要の減少、輸出では価格競争問題で大きく響き減少、和装関連も集散地問屋の倒産等も市況に大きく影を落とし、不況のムードの強い年であった。

今後の課題

取り引き改善を積極的に行うと共に、技術力を生かした積極的な新商品開発とコストダウン、情報収集、産地主導の販売の推進が必要。

桐生染色協同組合

商品、消費者のニーズの変化について

平成12年中のサラリーマン家庭の消費支出は、前年比0.6%減少している。その中で被服、履物への支出は7.9%減の高率である。しかし我が国の人口の50数倍の推定67億点（日本繊維輸入組合）が輸入されている。

また、一方高級ブランド品はバブル期の数倍の売上げ（朝日新聞）と言われている。安価な製品と海外ブランド品との二極化傾向にあるが、若者を中心とした購買力は高い。

状況、事業概要

消費者のニーズが二極化傾向にある中、高品質であるがその中間にある国産品は低迷している。

また、一方企業数の減少もあり、天然繊維糸の加工数量、金額ともに大幅に変化した。

今後の課題

技術者の高齢化にともなう次期人材の確保、顧客に提案できる製品の開発、並びに大量に使用する水、エネルギーの合理的利用方法、環境にあたる影響の問題等課題は多い。

桐生繊維製品協同組合

商品、消費者のニーズの変化について

前年同様に、デパート、専門店等、客不足により売上も減少で、新しい傾向の品物については少々売れる程度である。

状況、事業概要

受注も減り、工賃もなお下回ったと思われる。業界を取り巻く環境は厳しいものがある。

今後の課題

製造直売を指向して進むが、現在のアパレル業界が全力で売ろうとしてもなかなか売れず消費者の低価格商品と、高級ブランド商品に対応する厳しい販売を強いられている。これからも努力するほかないと思う。

桐生織物産地元売組合

商品、消費者のニーズの変化について

消費低迷の中、高級呉服の需要は低迷しているなかで、パシュミナ、カシミヤ、レザー、毛皮等をつかった商品が、呉服店でも良く売れている。

浴衣関連は、呉服店よりもアパレル業界からの受注が増えてきている。

状況、事業概要

平成12年も11年に引き続き、集産地（東京・京都等）の大型倒産が相次ぎ、京都、十日町等の高級呉服を生産する産地は大きな被害を受けた。幸に桐生地区では被害金額は少なかったがこれからも続出する気配があり、大変な状況である。

今後の課題

外国（特に東南アジア・中国）の安く安定した労働力の前に大量生産された商品は競争力に勝てない状況にある。桐生の加工技術を生かしQRに対応して小ロット、短サイクル生産をして、個性（感性）のある物づくりが必要になってきている。

取引面においては、流通の見直しを行い、呉服業界全体に与える支払い面の改善が急務となっている。

桐生糸商組合

商品、消費者のニーズの変化について

ポリエステルなど安価な輸入物は増加しているが、価格的には底にきている。

インテリア業界では環境問題を意識したエコペット商品が増えている。

状況、事業概要

長引く景気の低迷、輸入圧迫と価格破壊の一年であり各業界とも大幅ダウンである。原糸メーカーの縮小、撤退が加速した。クラレ、旭化成のレーヨン糸の撤退は産地に影響をもたらした。

今後の課題

輸入物、海外生産は今後も増えるし、変化のスピードは一段と速くなり、知恵、産地の技術を生かした物造りが急がれる。

桐生刺繍商工業協同組合

商品、消費者のニーズの変化について

低価格の安値追従と、量よりも質を重んじると2通りに別れてきた。独自の技術に特化した新加工技術及び新商品の開発。（繊維以外に刺繍した商品、市場にない刺繍商品等）

状況、事業概要

長引く国内不況による繊維製品需要の落ち込み、輸入製品の増加に伴う国内における刺繍加工需要の減少。上代価格の低下に伴う加工賃収入の減少。

今後の課題

中央会の指導による活路開拓事業を取り組みました。その結果を踏えて将来に向けての新しい事業、ビジョン、方向性を持ち、企画提案型取引への転換。新しい技術の開発、異業種交流、アパレル以外の刺繍需要の喚起。

地域に密着した持需用途の開拓、グループ化の提携、インターネット販売、情報化の推進等、出来る限り取り組んでいきたい。青年部の紹介による新入会員も増加してきました。

東日本編レース工業組合

商品、消費者のニーズの変化について

本当の消費のニーズが分からないが、総ての面で、今まで以上の良い物で、安い価格の物を要求されている。

状況、事業概要

レース（ラッセル・レース）商品の中国からの輸入はあまり目立たないもののドレープ（織物）の輸入はかなり有り、その商品につれてレースの価額が下がって居る。

また、今後中国輸入の話しも出ている為、4月頃に中国の状況を視察する事業を計画中である。

今後の課題

まだまだ厳しい状況が続くと思われる。

価額が下落する中で新しい物の開発、新しい流通改革が必要と思われる。今後、あらゆる物が輸入される中でそれに負けない商品と、流通改革が課題だと思う。

桐生意匠協同組合

状況、事業概要

アジアの近隣諸国の猛追が日本が高度成長大国に成り得る時に似た現象であると思う時に我々企業体は得意先の受注にて、仕事量が減少してきている。

組合員の高齢化と後継者も入れられない状況である。又今回16名中1名が廃業しても仲間に残る人と1名が数字が出ない状況にて調査を終了した。

又例であるが、ネクタイ1本原料糸代で中国で製品が仕上がり出来てしまうので全然話しにならないとさえ言われる。

今後の課題

桐生繊維振興協会を主軸に一層の関連団体の組織強化を図ると共に、我々組合としてはデザインCADシステムを活用して依り高度な意匠技術を、システムを持たない事務所は手作りに依る意匠技術を確立しなくてはと思います。

又、組合課題の新組合員加入には魅力ある組合作りと、情報化社会に生残るべき道を全員で作って行こうと思います。

桐生織物買継商友会

商品、消費者のニーズの変化について

ゆかた関連商品以外は概ね期待できない。

状況、事業概要

従来の殆どの販売ルートが後退をしている。

今後の課題

新たな商品及び販売ルートの開拓が大きな課題だが、他産地（海外を含めて）製品の取扱いが間接直接にかかわらなければ、現状維持も将来の発展も見込めない状態かと思われる。

桐生テキスタイル商業グループ

商品、消費者のニーズの変化について

消費者ニーズの変化に対応が一層重要なポイントとなる。ヤングカジュアル商品及び量販店向商品は桐生産地の対象外となる。

キャリア、ミセスゾーンが対象となる。

期近、少ロット対応が一層きびしく要求されている。

今後の課題

- 1) 桐生産地で生産される服地のグレードの信頼性、品質管理と検査の徹底により無駄な損失を防ぐ。
- 2) 商品開発のための情報収集と産地としての商品提案力
- 3) 整理加工の他産地以上の水準の向上

桐生和服裁縫組合

商品、消費者のニーズの変化について

例年と変りはないが、高級品が売れている様である。

状況、事業概要

仕立代のダンピングは落ちついてきたように思うが、海外縫製、ミシン縫製の勢いが強く、相変らず受注減である。

今後の課題

きもの人口が減少している今、売り上げを伸ばすと言うのは非常に難しく思うが、とにかく着る機会を増やすと共に手縫いに拘わらず発想の転換も必要と思います。

桐生市繊維振興協会加盟団体名簿

(平成13年3月現在)

団 体 名	代表者名	所 在 地	電 話
桐生織物協同組合	佐藤富三	桐生市永楽町5-1	0277-43-2511
桐生商工会議所繊維部会	塚本祐平	" 錦町3-1-15	0277-45-1201
桐生染色協同組合	塚本祐平	" 永楽町6-6	0277-22-9661
桐生繊維製品協同組合	関口幸三郎	" "	0277-46-2310
桐生織物産地元売組合	木村俊一	" 相生町2-230-1	0277-53-5131
桐生糸商組合	川村治朗	" 仲町3-15-6 川村(株)内	0277-44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	栗原光好	" 永楽町6-6	0277-22-7919
東日本編レース工業組合	中野隆雄	" "	0277-22-3847
桐生織物整経協同組合	高久勇雄	" 境野町6-304 (有)タカク内	0277-45-0851
桐生意匠協同組合	大澤純一	" 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生紋紙協同組合	岩崎万雄	足利市山川町538-1 (有)岩崎紋工社内	0284-41-5764
東毛ジャカード刺繍協同組合	西村千春	桐生市新宿3-7-34	0277-43-1166
桐生織物買継商友会	島崎英三	" 本町1-3-18 島崎商店内	0277-47-4000
シルク・ルネッサンス桐生	青木軍次	" 広沢町4-2423-1	0277-54-2584
桐生テキスタイル商業グループ	木島清	" 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生織伝統工芸士会	新井實	" 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生和服裁縫組合	萱森一広	" 旭町201	0277-44-9049

事務局 財団法人 桐生地域地場産業振興センター内

〒376-0024 桐生市織姫町2番5号

TEL (0277) 46-1011 (代表)

FAX (0277) 46-1014